

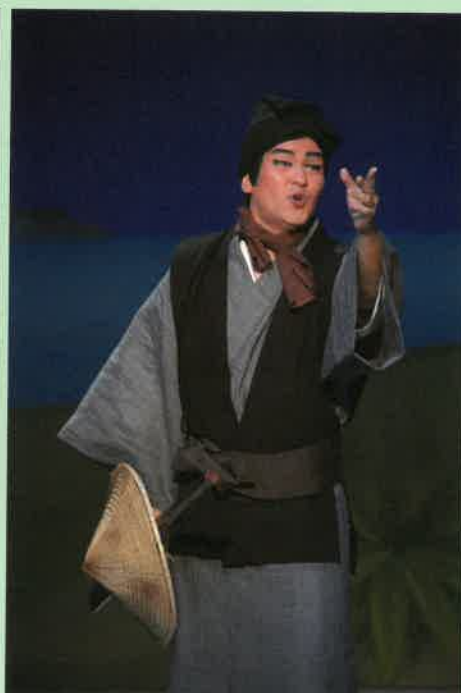
うちなー芝居、踊る、組踊や、なまから ちゃーなてい いちゅが？

日本語（やまとぅぐち）しえー 表現しゅーさん 琉球諸語（しまくとぅば）ぬ世界

久しぶりの「しまくとぅば鼎談」は、国立劇場おきなわ芸術監督の嘉数道彦さんを招いて、沖縄芸能の現状、将来についてお話いただきます。嘉数さんは、1979年のお生まれですが、うちなーぐちが堪能です。幼少時から琉球舞踊を学び、県立芸術大学在学の頃からうちなー芝居や新しい組踊の創作・演出に携わり、自らも演じています。

沖縄芸能の核となる言葉の問題についても、ざっくばらんに語っていただきます。

〈4名とも最初から最後まですべて、「しまくとぅば」でしゃべります！〉



（嘉数道彦さんの舞台風景）

日時 | 2020年7月12日（日）午後2～5時（午後1時30分開場）

場所 | 沖縄県立博物館・美術館 1階講座室（新型コロナウイルスのため、先着50名）

資料代 | 500円

登壇者 | 嘉数 道彦（国立劇場おきなわ芸術監督）

屋嘉 宗彦（法政大学名誉教授）

比嘉 豊光（写真家）

伊佐 真一（沖縄近現代史家）

★来場者と「しまくとぅば」でコンタクもしますので、どうぞ気楽においで下さい。

【しまくとぅばプロジェクト】2020年度の行事予定

■講座「諺で学ぶみゃーくふつ入門」

諺は、短い表現のなかにそれが生まれた時代の自然や社会、人間に対する人々の感情や評価が反映されています。諺は、覚えやすく唱えやすく、簡潔でわかりやすいことから、生活のさまざまな場面で行動の指針として与えられてきました。現代社会にも有用な諺は少なくありません。

ミャークフツ（宮古方言）で語られる諺に使用される表現を通してミャークフツを学ぶ講座を開催します。

開催場所：沖縄県立美術館講座室（定員は毎回先着 30 名） / 担当：狩俣繁久

※入り口での検温、手指消毒、会場換気を行います。

会期：7月19日（日）、8月23日（日）、10月4日（日）、11月1日（日）、12月6日（日）
2021年1月24日（日）、2月6日（土）

■講座「しまくとぅばの辞典を作ろう」

開催場所：沖縄県立美術館講座室（定員は毎回先着 30 名） / 担当：狩俣繁久、半嶺まどか

※入り口での検温、手指消毒、会場換気を行います。

会期：8月2日（日）、9月26日（土）、11月22日（日）、2021年2月6日（土）

■ワークショップ「しまくとぅばライティング」

このワークショップでは、「しまくとぅば」を実際に「書く」ことを考えます。「しまくとぅば」の音声（録音）を題材にしながら、その記述（記録）に実際に取り組み、テキスト作成や辞書作りなど、「しまくとぅば」を「書くこと＝ライティング」の実践活動につなげていきます。

開催場所：てだこホール多目的室（定員は 30 名） / 担当：西岡敏

※入り口での検温、手指消毒、会場換気を行います。

会期：8月8日（土）、10月24日（土）、11月14日（土）

■「しまくとぅばの日」特別企画

シンポジウム「しまくとぅばの会話のしくみ—文法のちぶどっくるを知る—」私たちの会話は半ば無意識で行われていますが、そこには文を作るしくみ、すなわち、「文法」が働いています。国語（日本語）や英語の「文法」は、学校などでも中学生のころから学ぶ機会がありますが、「しまくとぅば」の「文法」を学ぶ機会は、今のところ、大学などを除いて、ほとんどありません。今回のシンポジウムでは、「しまくとぅばの会話のしくみ—文法のちぶどっくるを知る—」と題して、「しまくとぅば」の「文法」の要点について、研究者が分かりやすく解説し、「しまくとぅば」の「文法」をめぐる様々な問題について議論します。

開催場所：沖縄県立博物館講座室（定員は先着 50 名） / 担当：仲原穂、西岡敏

※入り口での検温、手指消毒、会場換気を行います。

会期：9月22日（火、秋分の日）